

症例 4-1

71 歳、女性

腎機能、肝機能：問題なし

血算：問題なし

進行乳癌、骨（Th5）転移

ER0% PgR0% HER2 (-)、Ki67：72%、組織学的異形度 3、

Th5 転移による脊髄圧迫あり。腰部、左足に疼痛あり。

ゼロータ（A 法）、ゾメタ開始に伴い、疼痛コントロールも開始された。

Rp 1				
ゼロータ錠 300 mg	8 錠	1 日 2 回	朝夕食後	7 日分
Rp 2				
ピドキサール錠 10 mg	3 錠	1 日 3 回	毎食後	7 日分
Rp 3				
オキシコンチン錠 5 mg	2 錠	1 日 2 回	朝夕食後	7 日分
Rp 4				
ノバミン錠 5mg	3 錠	1 日 3 回	毎食後	7 日分
Rp 5				
マグミット錠 330 mg	3 錠	1 日 3 回	毎食後	7 日分
Rp 6				
オキノーム散 5 mg	1 包	疼痛時		5 回分
Rp 7				
ロキソニン錠 60 mg	1 錠			
ムコスタ錠 100 mg	1 錠	疼痛時		5 回分

1. オピオイド使用中に出現する副作用は何か?どのような説明が必要か?
2. 出現する副作用に対する標準的あるいは一般的な対応は何か
3. 今回の処方で処方監査する際の注意点および疑義照会すべき点はあるか?

症例 4-2

37 歳 女性

腎機能、肝機能：問題なし

血算：問題なし

進行乳がん、骨（Th10）転移

タスオミン錠内服開始と同時に、腰背部痛に対してオキシコンチンを導入した。

Rp 1	タスオミン錠 20 mg	1 錠	1 日 1 回	朝食後	7 日分
Rp 2	オキシコンチン錠 5mg	2 錠	1 日 2 回	12 時間毎 (8 時、20 時)	7 日分
Rp 3	ロキソニン錠 60mg	3 錠	1 日 3 回	毎食後	7 日分
	ムコスタ錠 100 mg	3 錠	1 日 3 回	毎食後	7 日分
Rp 4	ノバミン錠 5mg	3 錠	1 日 3 回	毎食後	7 日分
Rp.5	マグミット錠 330 mg	3 錠	1 日 3 回	毎食後	7 日分
Rp.6	オキノーム散 2.5 mg	1 包	疼痛時		10 回分

上記処方を服用後、頻回の嘔吐、便秘が出現したため、オキシコンチン錠 5mg から以下の処方に変更となった。（オキシコンチン以外は変更なし）

Rp 1	フェントステープ 1mg	1 枚	1 日 1 回		7 日分
------	--------------	-----	---------	--	------

1. オキシコドンとフェンタニルの副作用に違いはあるか？ どのような説明が必要か？
2. 今回の処方処方で処方監査する際の注意点および疑義照会すべき点はあるか？

症例 4-3

54 歳 女性

腎機能、肝機能：問題なし

血算：問題なし

右乳がん術後（リンパ郭清後）再発、皮膚浸潤

ER0% PgR0% HER2 (-)、Ki67：>80%、組織学的異形度 3、

右上肢～胸部の痛みがあり、デュロテップ MT パッチ 16.8mg を 1 回 2 枚貼付していた。

右上肢の可動域制限あり。

「デュロテップパッチを貼った日は眠くなっていました。3 日目は痛くなるので、薬を変更すると聞きました。」

Rp 1				
フェントステープ 8mg	1 枚	1 日 1 回		7 日分
フェントステープ 4mg	1 枚	1 日 1 回		7 日分
Rp 2				
アンパック坐剤 30 mg	1 個	痛いとき		20 回分
Rp 3				
リンデロン錠 0.5mg	1 錠	1 日 1 回	朝食後	7 日分
Rp 4				
リリカカプセル 75 mg	4Cp	1 日 2 回	朝食後・夕食後	7 日分
Rp 5				
タケプロン OD 錠 15mg	1 錠	1 日 1 回	朝食後	7 日分
Rp 6				
プルゼニド錠 12mg	2 錠	1 日 1 回	夕食後	7 日分

1. デュロテップ MT パッチ（3 日貼替）からフェントステープ（1 日貼替）への切り替え時の注意点は何か？
2. 今回の処方で処方監査する際の注意点および疑義照会すべき点はあるか？

参考図書・参考資料

- がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2010 年度版
編集：日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン作成委員会
出版：金原出版

- オピオイドによるがん疼痛緩和
著者：国立がんセンター中央病院薬剤部
出版：エルゼビアジャパン

- ステップ緩和ケア
編集：緩和ケア普及のための地域プロジェクト（OPTIM）